

保護者の皆様

古河市立釈迦小学校長 小池 宗一

平成28年度 学校評価結果について（お知らせ）

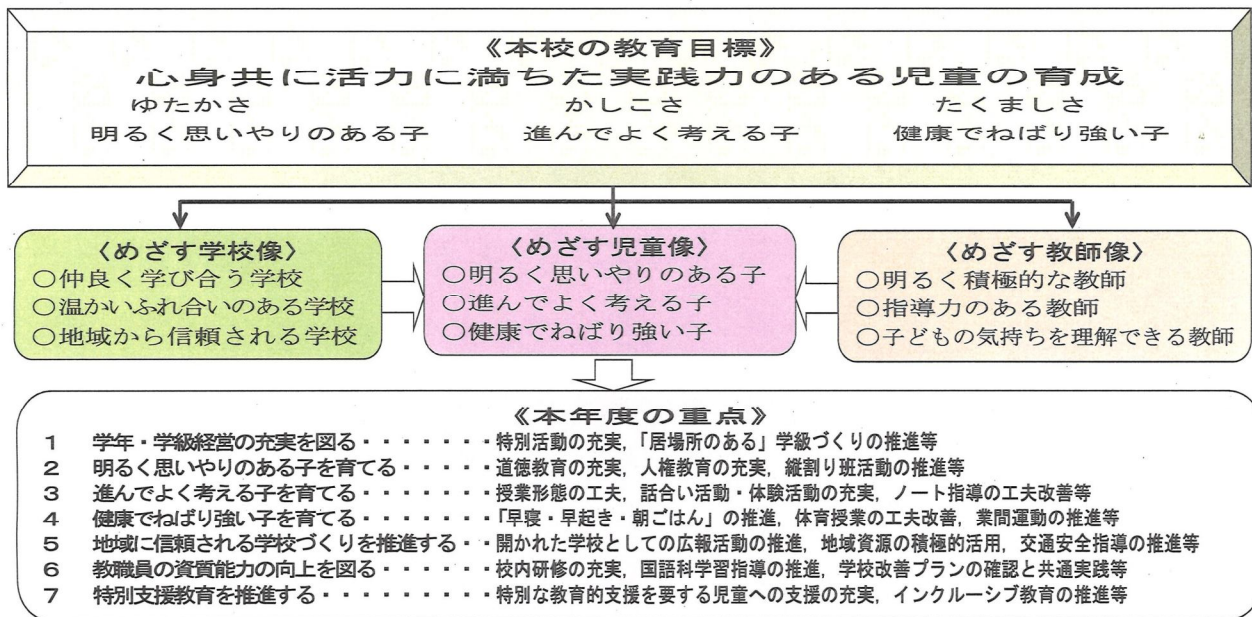
梅花の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろから本校教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に児童・保護者・職員を対象に、2回目の本校教育活動に対するアンケートを実施したところ、保護者の皆様からご回答をいただきました。ご多忙の折ご協力ありがとうございました。前回と合わせて、今年度の結果と今後の対応につきまして、お知らせいたします。

《本校の教育目標・目指す児童像など》

《H28 釈迦小学校グランドデザイン》

※一部抜粋



1 ゆたかさ（明るく思いやりのある子）

4：そう思う，3：ややそう思う，2：あまりそう思わない，1：そう思わない

番号	質問事項（上段が児童，下段が保護者）	2.5が中間		3と4の割合（%）	
		児童	保護者	児童	保護者
ゆたかさ	1 自分からあいさつやえしゃくができましたか （お子さんは、あいさつができますか）	3.6	3.4	94.1	90.1
	2 友だちとなかよくすごすことができましたか （お子さんは、思いやりや助け合いの心が育っていると思いますか）	3.7	3.3	94.5	92.2
	3 時間やきまりを守って生活することができましたか （お子さんは、時間を守ることやきまりを守ることなど、基本的な生活習慣を守って生活ができていますか）	3.5	3.2	91.2	▲76.2
	4 自分には、良いところがあると思いますか （お子さんは、自分の良い点を自覚していると思いますか）	3.4	2.9	87.4	▲74.0
	5 そうじや当番活動など、みんなのためにがんばりましたか （お子さんは、掃除や手伝いなど、家族のために協力していますか）	3.7	3.1	96.6	80.4

▲は課題のあるもの

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> 高学年が中心となり、創意ある異学年交流が実践できた。（縦割り班遠足・遊び・2人1プランターの世話・縄跳び等） 児童の良さががんばりを相互に認め励ます取り組みを、各学級で実践してきた。 児童と教師が協働・共遊することで、児童と教師相互の理解が深まった。（学級の温かい人間関係の構築・児童の自主的な活動）
-------	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自尊感情は、少しずつ高まりつつあるが、まだ十分ではない。 校内での自主的なあいさつは定着してきているが、登下校時の地域の方々へのあいさつが不十分である。 	改善するために	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人個々の良さを見逃さず、積極的に認め励ましていく。 地域の方々へのあいさつの励行も根気強く継続していく。(ご家庭でも日頃からしっかりとあいさつができるようご指導をお願いします。)
----	--	---------	---

2 かしこさ (進んでよく考える子)

4: そう思う, 3: ややそう思う, 2: あまりそう思わない, 1: そう思わない

	番号	質問事項 (上段が児童, 下段が保護者)	2.5が中間		3と4の割合 (%)	
			児童	保護者	児童	保護者
かしこさ	6	学習で使うものをわすれないように心がけていますか (お子さんは、忘れ物などをせず、学習のきまりが身に付いていると思いますか)	3.6	3.1	92.4	80.1
	7	学校での勉強はよくわかりますか (お子さんは、学校の授業はわかりやすいと言っていますか)	3.8	3.1	99.2	78.8
	8	家庭学習にしっかり取り組んでいますか (お子さんは、宿題や家庭学習に取り組んでいますか。学年×10分+10分)	3.5	3.1	90.7	75.7
	9	自分の考えや意見を進んで発表していますか (お子さんは、発表やみんなと話し合うことに意欲的ですか)	3.2	2.9	▲70.5	▲64.0
	10	百ます計算や全文視写、読書にしっかり取り組んでいますか (お子さんは、チャレンジテストに合格するなど、基礎的基本的な学力が身に付いていると思いますか。)	3.8	3.4	97.1	90.5

▲は課題のあるもの

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> 朝の百ます計算・全文視写・読書への取り組みに対する児童の児童の評価が高くなった。チャレンジテストに向けて、十分な時間をとって練習を行ったことにより、1・2学期共に100%に近い児童が合格し、力が付いてきている。 授業力の向上を目指し、すべての職員が授業研究を行った。また、児童の多くが「学校での勉強はよくわかりますか」の質問に対し、「そう思う」と回答している。 	改善するために	<ul style="list-style-type: none"> 発問の内容や学習形態を更に工夫し、児童の活発な学習活動や積極的な発言を引き出せるように、授業改善を進める必要がある。 学校から家庭へ児童のがんばりを積極的に伝える。(ご家庭でも励ましの言葉をかけていただけるようにしていきたい。)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の考えや意見を進んで発表していますか」に対して、児童・保護者共に低い評価となっている。 「学校での勉強はよくわかりますか」に対して、児童は3.5と比較的高いが、保護者は3.1と低い傾向にあり、評価に隔たりがある。 		

3 たくましさ (健康でねばり強い子)

4: そう思う, 3: ややそう思う, 2: あまりそう思わない, 1: そう思わない

	番号	質問事項 (上段が児童, 下段が保護者)	2.5が中間		3と4の割合 (%)	
			児童	保護者	児童	保護者
たくましさ	11	毎日元気に登校していますか (お子さんは、毎日元気に登校していますか)	3.9	3.8	98.8	98.3
	12	先生の注意を守って、安全に気をつけて生活していますか (お子さんは、健康や安全に気をつけて生活していますか)	3.7	3.4	96.2	95.7
	13	体育の授業に進んで取り組んだり、休み時間は外で元気に遊んだりしていますか。 (お子さんは、元気に遊んだり運動したりしていますか)	3.6	3.7	93.3	96.6
	14	早寝・早起き・朝ごはんを守って生活していますか (お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんができていますか)	3.7	3.5	93.1	87.0

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> 欠席0の日年間60日を掲げて健康・安全教育に取り組み、保護者の方々や地域の方々の協力を得て、52日(1月20日現在)を達成することができた。 業間や昼休み、積極的に外遊びをする児童が増えてきた。(一輪車・鉄棒・ブランコ・鬼遊び・ドッジボール・サッカーなど) 「釈迦子ども見守り隊」の方々に、日々児童の登下校の安全を守るために、活動を継続していただいている。職員も、可能な範囲で下校時の随行を行うようにしてきた。
-------	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びをする児童が増えている。協働共遊を励行し、強い体作り、体力向上を図っていく必要がある。 課題である「握力」と「投力（ボール投げ）」の向上に向け、継続した取り組みが望まれる。 	改善するために	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びの励行と共に、体育の時間の運動量を増やすための工夫と実践を行ってきたい。 強い心と体を養うための取り組みの一環として、徒歩で登下校をするようご協力をお願いします。
----	--	---------	---

4 その他（保護者のみの項目）

4：そう思う，3：ややそう思う，2：あまりそう思わない，1：そう思わない

番号	質問事項（上段が児童，下段が保護者）	2.5が中間		3と4の割合（%）	
		児童	保護者	児童	保護者
15	学校は楽しいですか （職員は、いじめのない明るい学級づくりに取り組んでいると感じますか）	3.8	3.3	97.5	90.5
16	読書は好きですか （家で読書をするなど、お子さんは、読書に親しんでいますか）	3.7	2.8	93.3	▲61.6
17	交通ルールを守って、1列で登下校していますか （お子さんは、1列で登下校するなど、交通ルールを守って生活していると感じますか）	3.4	2.9	88.6	▲69.3
18	職員は、一人一人の児童を大切に指導していると感じますか ※保護者のみ	/	3.4	/	94.4
19	職員は、学校だよりや学年だより、ホームページなどで学校や児童の情報を発信していると感じますか ※保護者のみ	/	3.5	/	93.6

▲は課題のあるもの

課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童は学校で読書に親しんでいるが、保護者との評価に大きな差があった。 通学班での登下校の仕方については、一列歩行、曲がり角や交差点での十分な安全確認ができていないことがあった。 	改善するために	<ul style="list-style-type: none"> 本校では、今年も年間読書50冊全員達成を目指して取り組んでいる。3年間で300冊を達成した児童もいる。家庭でもぜひ児童と一緒に読書を行うような機会を多くつくっていただけたらありがたい。 「自分の命は自分で守る」という観点に立ち、交通ルールの遵守や安全な登下校について、随時様々な機会を捉え、根気強く指導を継続していきたい。
----	---	---------	--

5 自由記述（保護者の意見や、学校・PTA本部からの回答）

《感謝の言葉等》

- いつも登下校時に先生方が立哨や子供たちに随行しながら安全に気をつけていただき、ありがとうございます。
- 先生方には、小さな変化を見逃さず素早く連絡・対応をしていただき、ありがとうございます。
- 先生方のご指導のおかげで、子供が進んで手をあげ、自分の意見を発表できるようになってきました。
- 子供の学校生活が、とても楽しそうです。子供が意欲的に取り組める環境づくりや様々な準備をしていただいている先生に感謝します。

《意見等・意見についての対応》

△入学式と卒業式の保護者代表謝辞は、保護者の間での争いのもととなるので、なくしてほしい。

対応：入学式と卒業式における保護者代表謝辞は、最後に保護者を代表して謝意を述べていただくということで、式次第には必要なものだと思います。PTAと相談し、皆様に納得していただける方法で人選を行うようにしたいと思います。（学校）

例年新1年生と6年生の学年委員長がこの役にあたる形となっているため、年度末の役員選定に時間がかかる現状があります。これまでに、学年委員長が一旦受けた上で、あいさつが得手な方に交代するという事もありました。学年委員が絶対やらなければならないわけではないことを周知する必要があるかもしれません。（PTA本部）

△子供たちがもう少し元気にあいさつをしてくれれば立哨している側としては嬉しく思うのですが。

対応：学校としましては、「すすんで元気なあいさつができる子になろう。」ということで、4月当初から、率先垂範の姿勢で指導を進めてきています。また、6年生を中心に、「あかるく」「いつも」「さきに」「つづけて」を合い言葉に、学校を挙げてあいさつの励行を積極的に進めているところです。できれば登下校中にも地域の方や立哨の方に対して進んであいさつできる子供になってほしいものです。しかしながら、常時、時・場所・相手を選ばずに全員に徹底して自主的なあいさつが行えるようにすることは、なかなか難しいものです。実現するためには、学校、家庭、地域が一体となって取り組んでいく必要があると思います。学校としましては、更に力を入れてまいりますので、ご家庭でも子供たちへの声かけや励ましを是非お願いいたします。

△児童数が減少し、兄弟がいると毎年のように役員となるため、釈迦っ子祭りでの負担が大きい。学年役員と本部役員で3品くらいにするなど、簡素化してできないでしょうか。

対応：現状はPTA本部も把握しています。状況を踏まえ、以前は2品目ずつの割り当てでしたが、3年ほど前から品数・品目とも各学年の自主的な決定に任せるようにしました。負担感を感じるのはやむを得ないことだと思いますが、強制ではないので、各学年で考えながら負担を減らす工夫をお願いします。(PTA本部)

△立哨当番の回数が多いので、見守り隊のように、地域の方も当番に入っただけなら、負担の軽減になると思います。

対応：確かに立哨当番の回数は、P会員数の減少に伴い、多くなっています。地域の方々に当番に加わっていただくという案も良いアイデアだと思います。ただ、地域の方々に入っただけにあたっての、協力者の募集や依頼、地域の方々を含めた当番ローテーションの作成、当日やむを得ない欠席の場合の当番変更の連絡手段や交代の手配、開始してからの地区委員の立哨の旗などの用具の受け渡し等々、実務的な問題をクリアしていく必要があります。(PTA本部)

△廃品回収の回覧は、準備の都合上11月の初旬には回してほしいです。

△安全パトロールの日程は、3週間くらい前には知らせていただけないでしょうか。

対応：ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。PTA本部役員さんと相談の上、次年度は早めに連絡できるように努めます。

6 学校評議員の方々からの意見：第3回学校評議員会より

- ・「たくましさ」の項目の中で、本校児童の体力において、握力の結果が課題になっているようです。総和南中でも握力の結果が県に比較して低いという結果があります。昔と比較して、子供の外遊びの量が減っていることが影響しているように思います。釈迦小では、異学年交流が盛んで、外遊びをする児童が増えてきているようです。とても良い傾向だと思います。
- ・子供たちのよりよい教育には、学校・保護者・地域が一体となって取り組む必要があると思います。これからも、お互いに理解を深め手を取り合って、子供たちを守り育てていくことが重要だと考えます。
- ・日々学校も家庭も多忙化してきています。私たちは、勉強や運動を一緒に楽しむくらいのゆとりを持って子供たちと接していきたいものです。
- ・子供たちの登下校時の安全確保のために、「釈迦小見守り隊」の日々の自主的な活動には心から感謝をしています。情報共有のために、古河市のメール配信システムに「釈迦小見守り隊」のグループを設けていただいたのはよかったですと思います。